

モデル文書

難治がん・希少がんの病因・耐性メカニズムの解明と創薬開発を目指したがんオルガノイド大規模スクリーニングに関する多機関共研究

1. 研究の対象

本研究はこれまでに国立がん研究センターで実施されている『消化器がん由来のがん幹細胞の制御機構の解明（研究課題番号 2008-097）』に基づいて国立がん研究センター研究所において樹立されているがん細胞及び正常細胞を用いて行われます。

2. 研究目的・方法

研究目的：難治がん・希少がんがどのようにして治療が効かなくなるか、そのメカニズムを明らかとすることと、創薬開発を目的として行われます。

研究方法：共同研究機関である国立循環器病研究センター(NCVC)がもつ多数の化合物・遺伝子を対象とした網羅的探索（ハイスループットスクリーニング）技術を用いて探索および解析が行われます。

研究実施期間：研究許可日～2029年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療内容 等

試料：同意取得済み検体より樹立されたがん細胞及び正常細胞

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は先行研究で付与された研究用番号を用いて保管・管理します。他の機関への試料・情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）公式ホームページ等にて情報公開いたします。

国立循環器病研究センターが参加する研究の公開情報については国立循環器病研究センターの公式ホームページより確認することができます。

<https://www.ncvc.go.jp/hospital/pub/clinical-research/>

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター研究所 がん細胞システム研究ユニット

・独立ユニット長：関根 圭輔（研究代表者）

国立循環器病研究センター 創薬オミックス解析センター

・センター長：山口修（研究責任者）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方の研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(研究機関の固有情報等)

〒564-8545 大阪府吹田市岸部新町 6-1 国立がん循環器病研究センター
創薬オミックス解析センター 山口 修 (研究責任者)

TEL 06-6170-1070 (代表)

研究代表者

担当者氏名：関根 圭輔

担当者所属：国立がん研究センター研究所
がん細胞システム研究ユニット

住所：〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話：TEL 03-3542-2511 (代表)